

# 119番通報で困ることは？

こちら  
**119番**

- 消防テレガイド  
☎69-6141
- 在宅医テレガイド  
☎67-2828
- こちら119番  
消防本部通信指令室  
☎68-5119

119番通報の担当者にとつて避けることのできないものに、イタズラや間違いの通報があります。これには大変困っています。

蒲郡市では、1日平均約22件の119番通報があり、この内の3分の1ほどがイタズラや間違いの通報です。これらには、腹がたつものや、あきれてものが言えないようなもの、どこかユーモラスでおかしいものまであり、その内容も様々です。

これらの中で代表的なものといえは無言電話。こちらが応答しても、まったく返事がありません。それと「こちら119番」と答えたと勝手にアツン！と切られてしまうもの。このような場合にも、119番の担当者は、常に沈着冷静でなくてはいけません。「ひよつとして何かが……」という思いで、逆信号を送って相手呼び出します。(119番はいったん受け付けると、相

手が切っても消防が切らないかぎり、つながったままになっています)

結果的には、子どものイタズラであったり、単なる間違いの場合が多いのですが、逆信号を送ったことが功を奏し、出動につながることもあるので、気を抜くことができません。また、逆信号を送りつづけることが、緊急の災害通報の受信を妨げることになりかねませんので、神経を使います。

今後も、イタズラ・間違い通報は増えることはあってもなくなることはないと思います。これらに対し、我々担当者は、時には厳しく、時には寛大に、人間味あふれる対応を心がけていきたいと思っています。

ごく一部の人がいますが、心ないイタズラ通報は、決してしないよう  
——  
お願いします！



# 図書館 だより

## 新刊書紹介

病院で子どもたちと絵本を読みあう関係が続けてきた著者が、施設に暮らすお年寄りや絵本を読みあうようになった経過を、お年寄りとの出会いを丁寧に描きながら語る。

「読み終わったとき、ツギコさんが、にやつとして、ええ時間じやつたの」とつぶやいた。それは二人でつくった心地よさの確認だったように思う。著者の読書療法と規定せず、友人とのつきあいを大切にしたいという心持ちが、絵本を読みあうことの意味を教えてくれる。



「絵本を読みあうということ」  
村中李衣著 くぶどう社

## おすすめの1冊

### 『老いの道づれ』

沢村貞子著  
△岩波書店△

終戦の年、脇役女優と雑誌記者がふとしたことから出逢い、そして結婚、それから足掛け五十年の道のりを書いた回想記である。

駆け落ちしたこと、出逢った時のこと、仕事のこと等苦労の数々を乗り越えていきます。

そして女優を八十歳で引退し、老後を夫の「どこか海の見える所へ引っ越したい」の一言で、葉山に住む所を移し、二人でんびり暮らした。

だが、それもつかの間、最愛の夫は亡くなります。

そんな二人の出逢いから別れまでを亡き夫に語りかけるように書いてあります。夫婦の愛の深さを感じさせ、また、読んでいてとても感動を覚えました。



鹿島北読書会  
石黒幸子さん